



令和7年度

小・中学生による

「エコライフチェックシート」集計結果



毎日の生活の中で自分たちが出している二酸化炭素(CO₂)量を計算し、生活のムダを見直しながら地球温暖化防止につなげる目的ではじめたエコライフチェックシートも、平成19年の冬休みから始まり、今回で19回目となりました。

令和7年度も、小牧市内の小学4・5年生、中学1・2年生に協力を依頼して、ご家族と一緒に夏休み期間中にエコライフチェックシートを使って自己チェックをしていただきました。結果は下記の通りです。

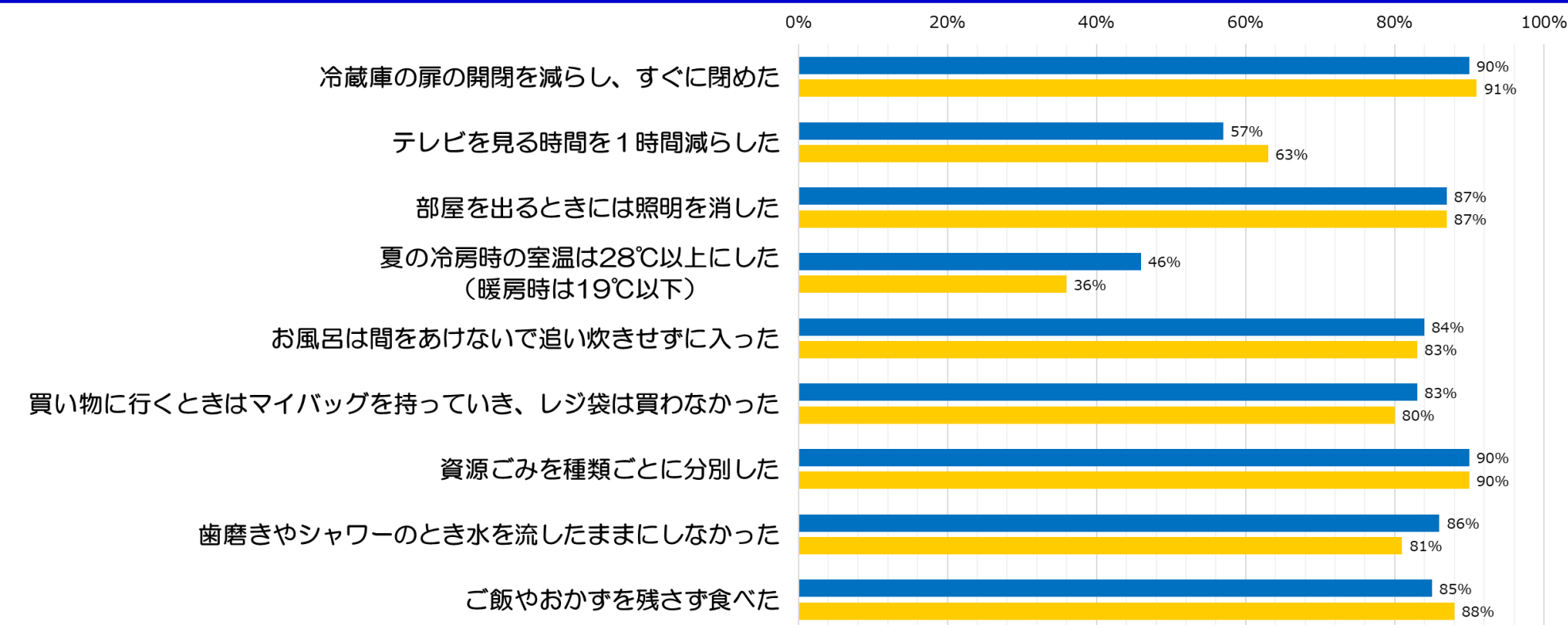
児童・生徒数		回答数	回答率	CO2削減量
小学4・5年生	2,496人	1,980人	79.3%	7,311 kg
中学1・2年生	2,598人	2,131人	82.0%	7,695 kg
合計	5,094人	4,111人	80.7%	15,006 kg

杉の木1本(樹齢80年)の吸収率に換算すると
1,705本になりました

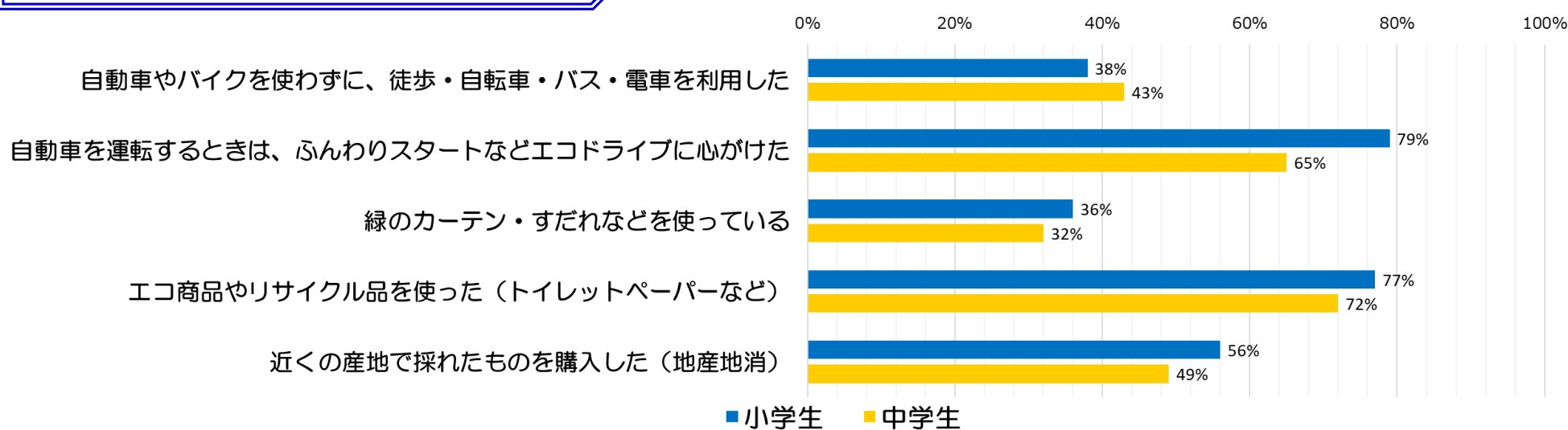


※ スギ1本(樹齢80年)が1年間に吸収する二酸化炭素=8.8 kg

実行率



ご家族にお聞きしました



◆ コメント抜粋 ◆

(小学生)

- ・少しのことでもたくさんの人を救えるし、簡単なので続けていきたいと思った。
- ・自分はエコが出来ていると思っていたが、エコライフチェックシートをやってみたら全てが出来ているわけではない事が分かった。

(中学生)

- ・地球温暖化はほぼ人間の手で行われているので、その分を減らそうという意気込みで、自分もできる限りのことはすべて行うことが出来た。
- ・地球に良い暮らしをすれば地球は明るくなるし、元気になる。みんな笑顔になると思う。



気象庁では今年の6～8月までの日本の平均気温はこれまでで最も高かったと発表しており、冷房時の設定温度の実行は難しかったかもしれません。一方、冷蔵庫の扉の開閉を減らす・すぐ閉めるや、資源ごみを分別するについては、小中学生ともに昨年度に引き続き実行率が90%以上となっており、普段の生活から意識していることがうかがえます。小牧市の豊かで美しい自然を守るため、**みなさんもできることから環境にやさしい行動を始めましょう！**